

令和8年2月10日

保護者様

市川市立第八中学校
校長 川野辺 修

学校評価の結果について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動につきましては、ご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、令和7年12月にご協力をいただきました学校評価の結果を、以下の通りご報告申し上げます。

学校では今回の結果を踏まえ、教育活動や教育環境の充実に努めてまいりますので、今後も家庭・学校・地域の連携のもと、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

1 結果について

- (1) 数値比較については、【生徒】【保護者】【生徒・保護者・教職員の比較】の3つでまとめました。
- (2) 【生徒】【保護者】につきましては、6月の結果、今回、市内の3項目の比較を行いました。
- (3) 【生徒・保護者・教職員の比較】につきましては、それぞれの立場にあてて質問文を調整し、今回のデータを比較しました。

2 分析について

- (1) 結果を踏まえて『学習』『指導』『生活』の3つで分析を行いました。
- (2) 自由記述につきましても、一部プライバシーにかかわるものやセンシティブなものを除き、ほぼ原文通り掲載いたしました。

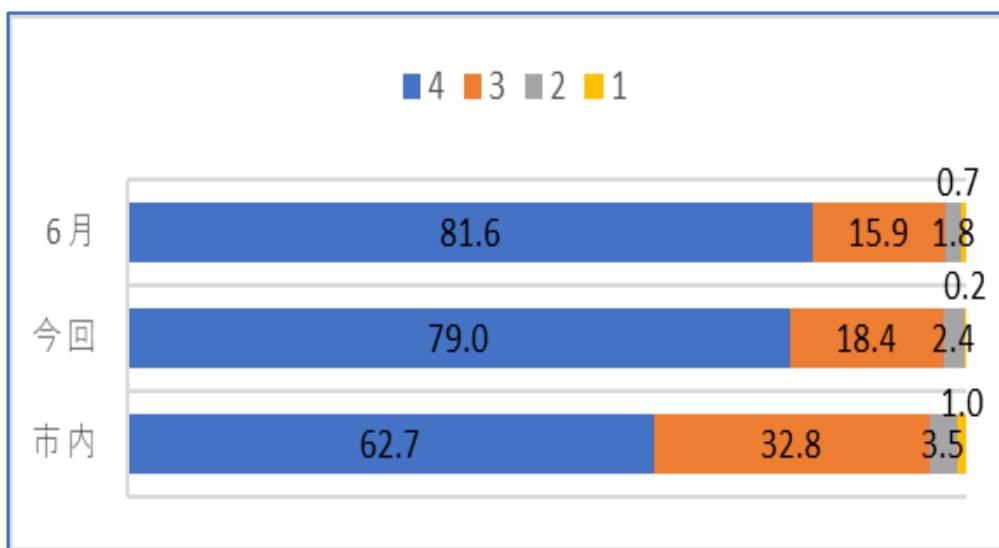
3 運営協議会の意見について

○1月16日(金)開催の第4回学校運営協議会において、ご協議いただいた内容を掲載しています。

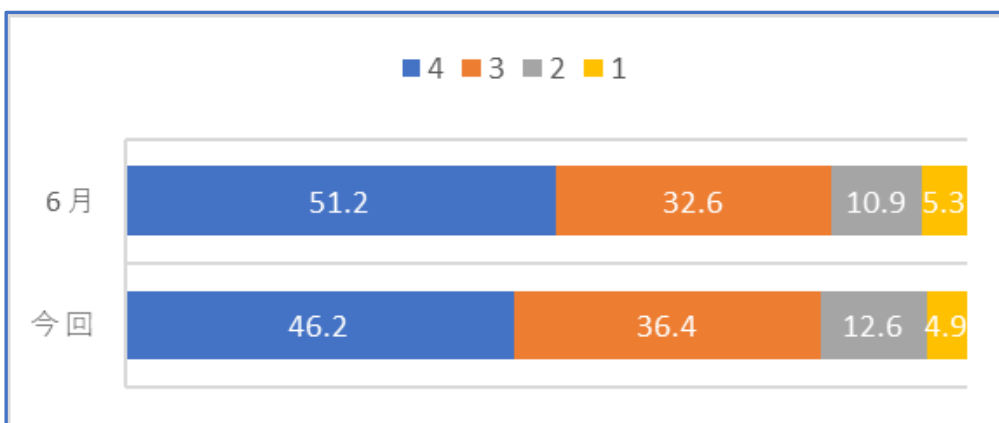
1. 結果

(1) 生徒アンケート

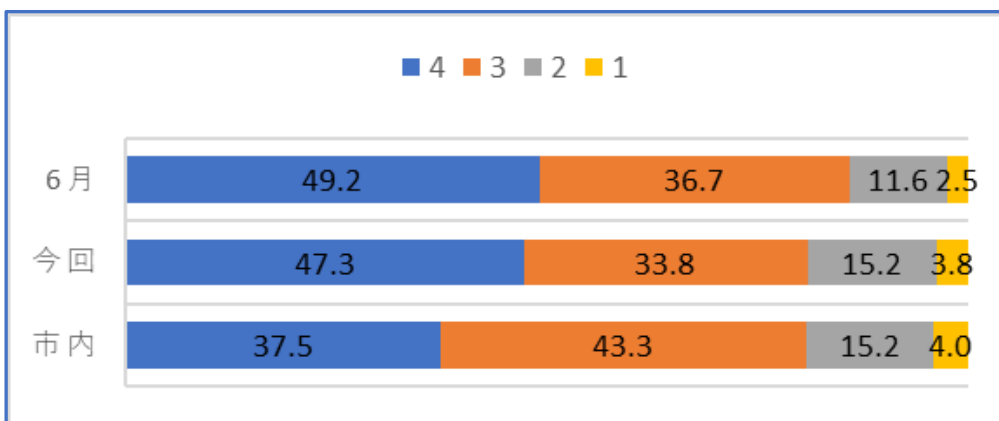
①友達の良いところを見つけることができますか。



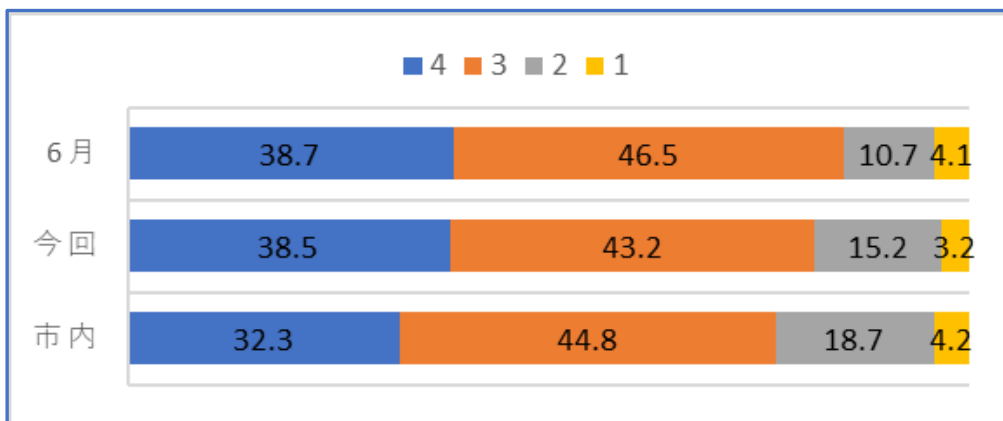
②自分にはいいところがあると思いますか。(学校独自)



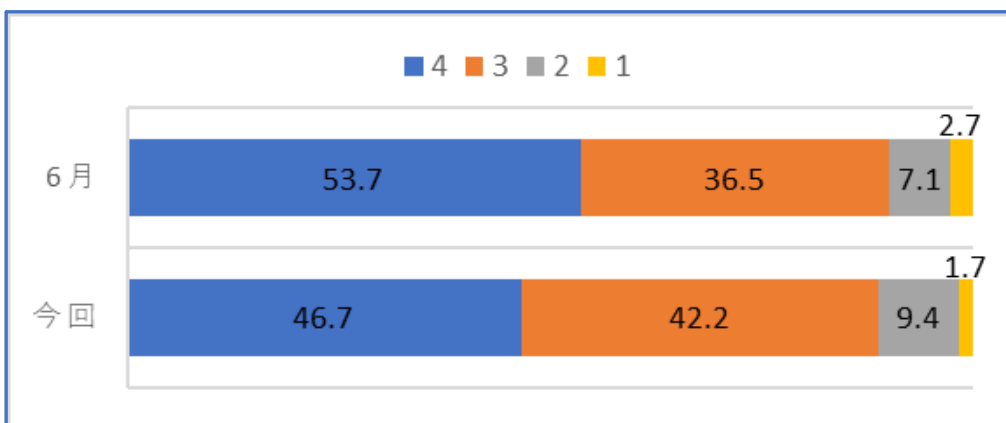
③目標を持って学習したり、生活したりしていますか。



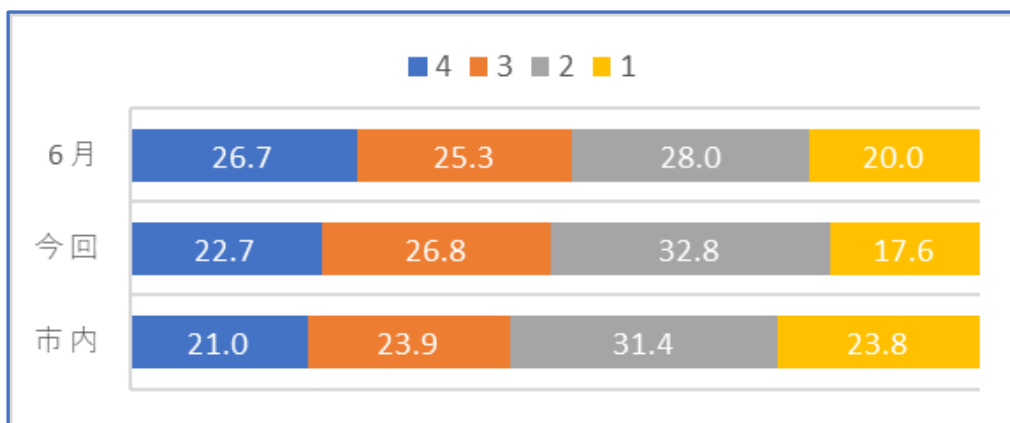
④調べたいことや分からないことを自分で調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいますか。



⑤学校では、個に応じた丁寧な学習指導を受けていますか。(学校独自)

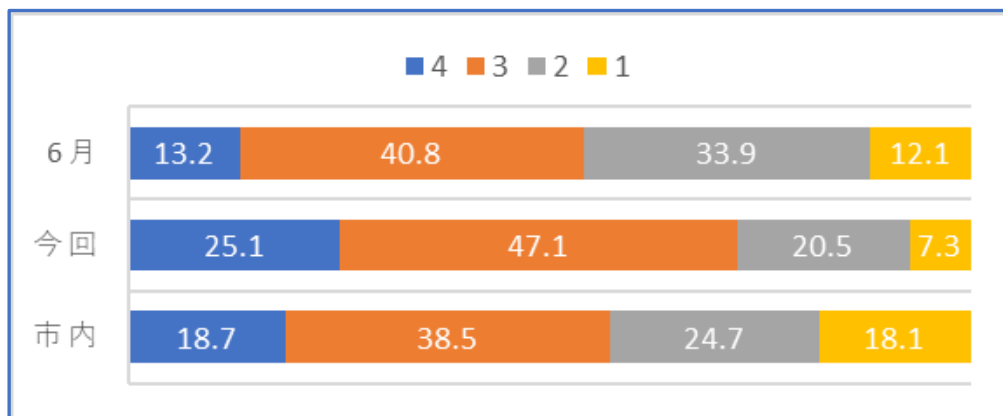


⑥日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。

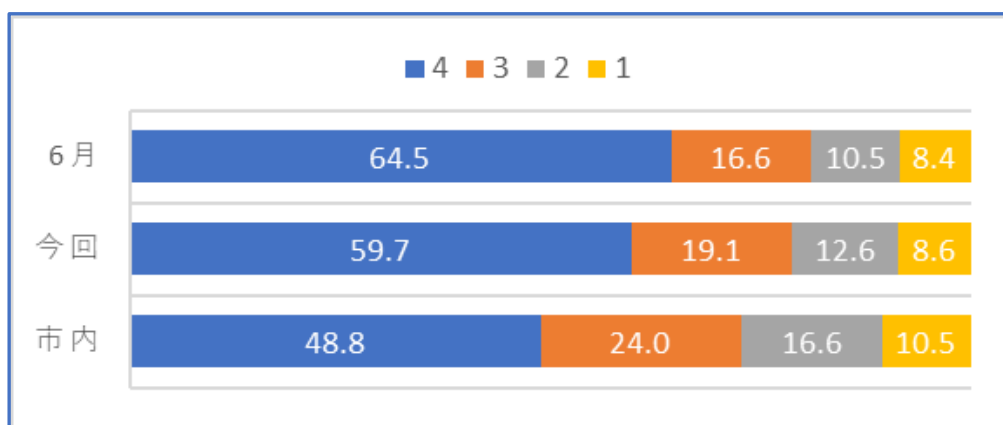


⑦日々の学習で、タブレットを活用していますか。

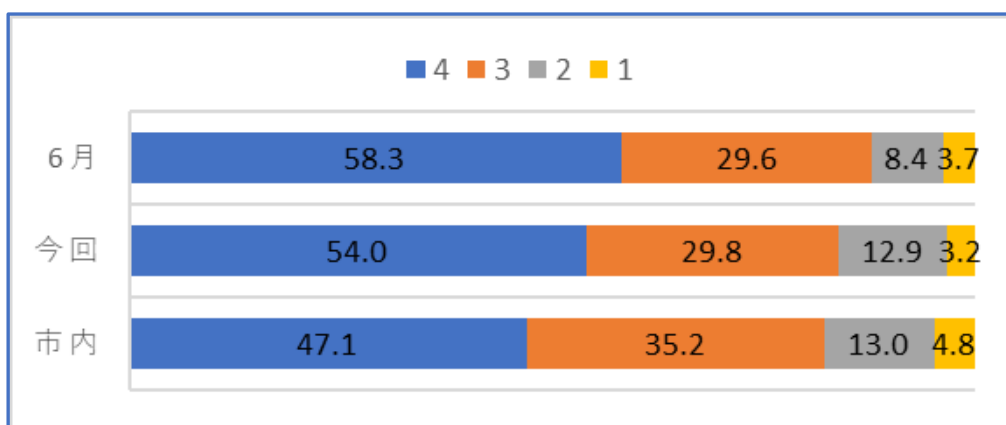
(4：ほぼ毎日 3：週2～3日 2：週1日 1：していない)



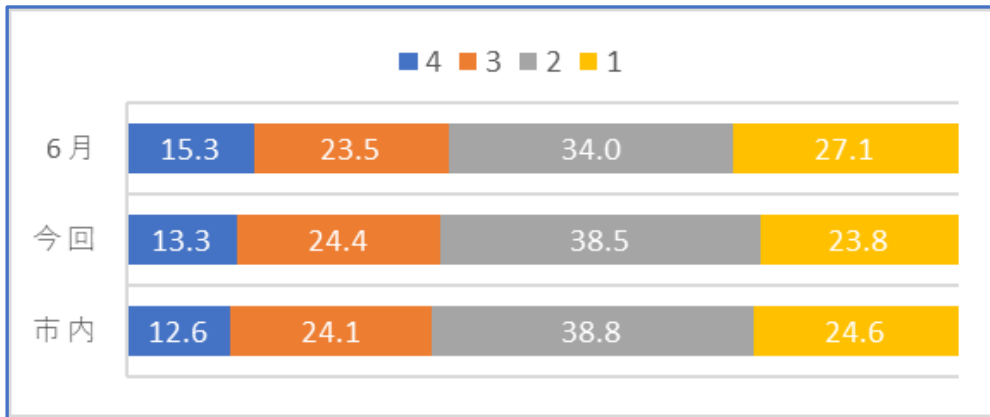
⑧日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。



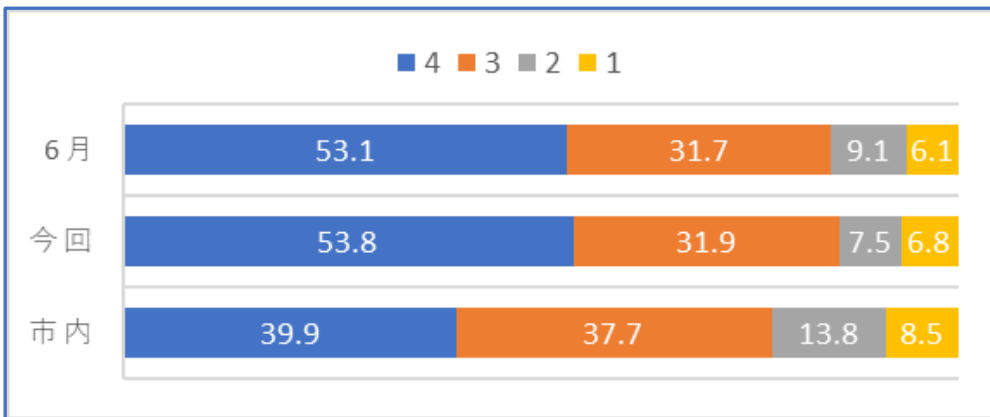
⑨給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。



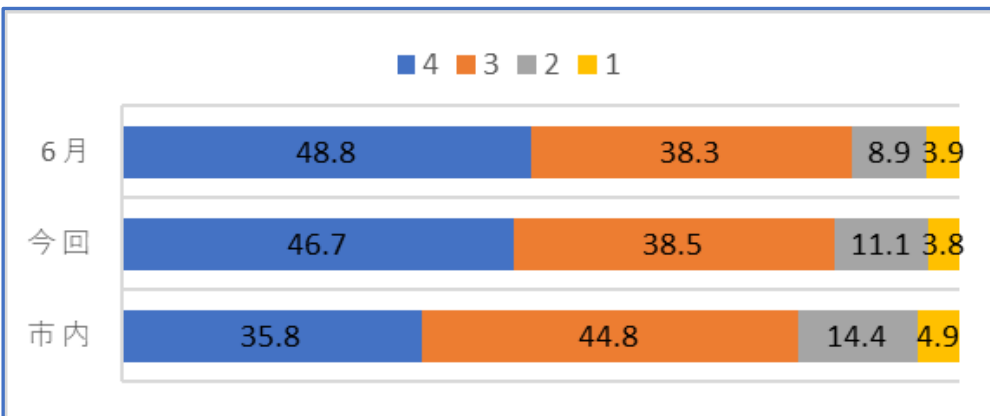
⑩学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。



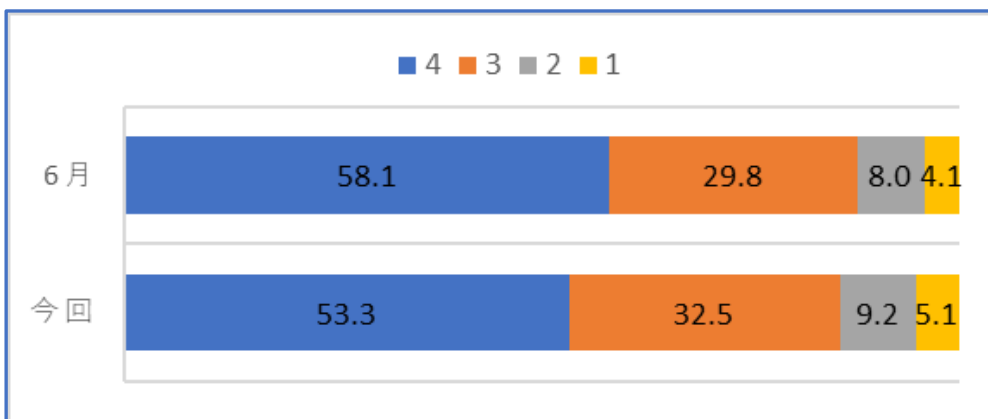
⑪困ったことがあった時に相談できる先生がいますか。



⑫学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられていると思いますか。

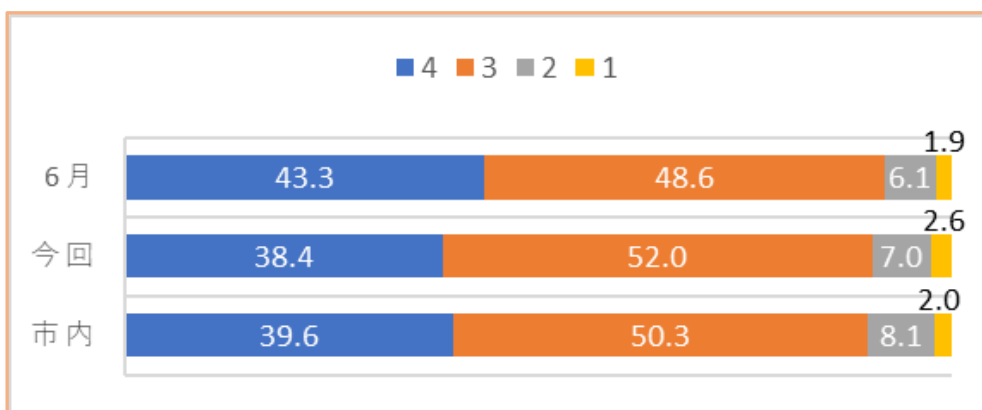


⑬学校の様子が十分に、ご家庭の方々に伝わっていますか。(学校独自)

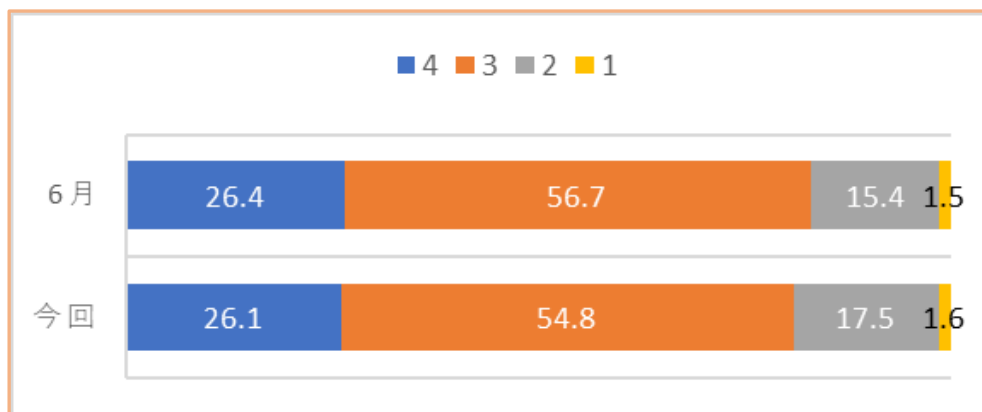


(2) 保護者アンケート

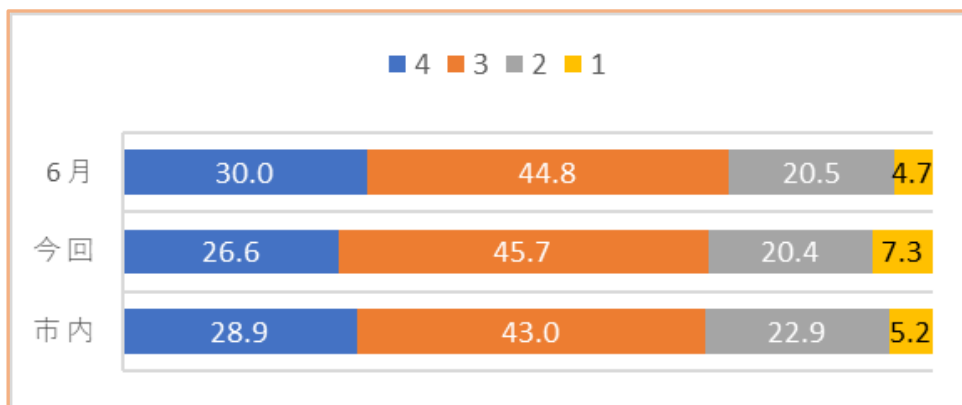
①お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。



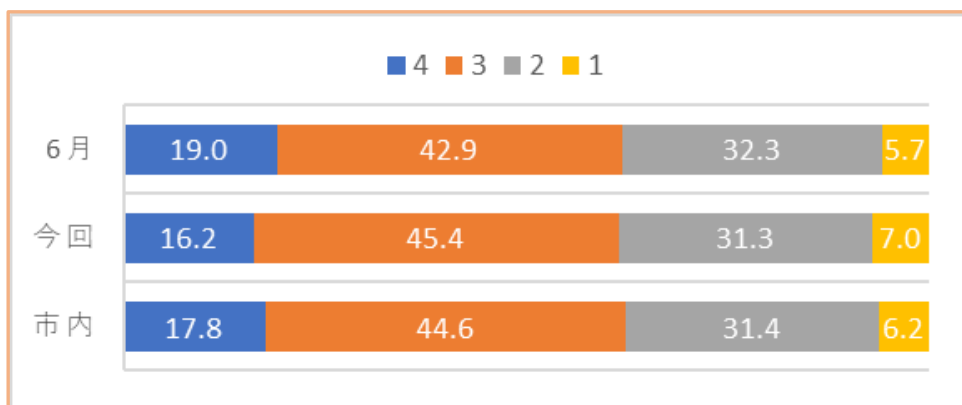
②お子さんは、自分自身の良いところに気づいていますか。(学校独自)



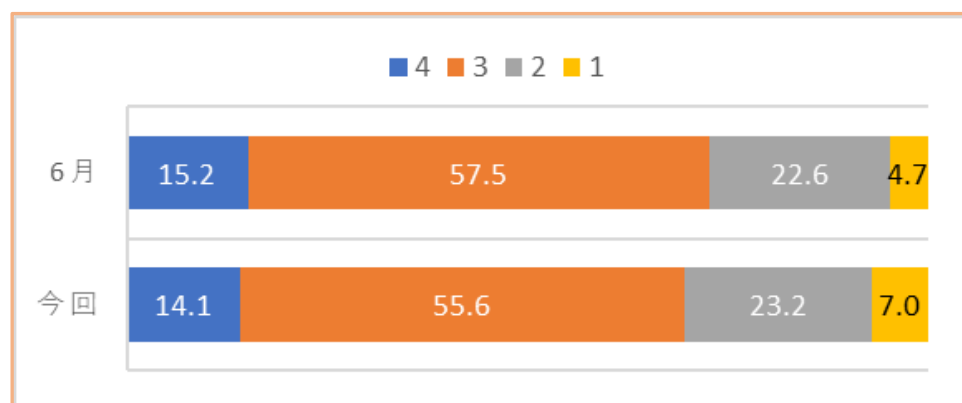
③お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか。



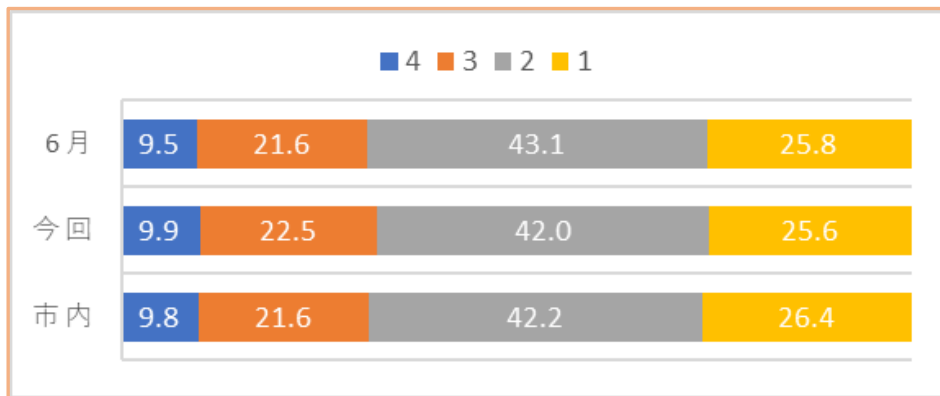
④お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいますか。



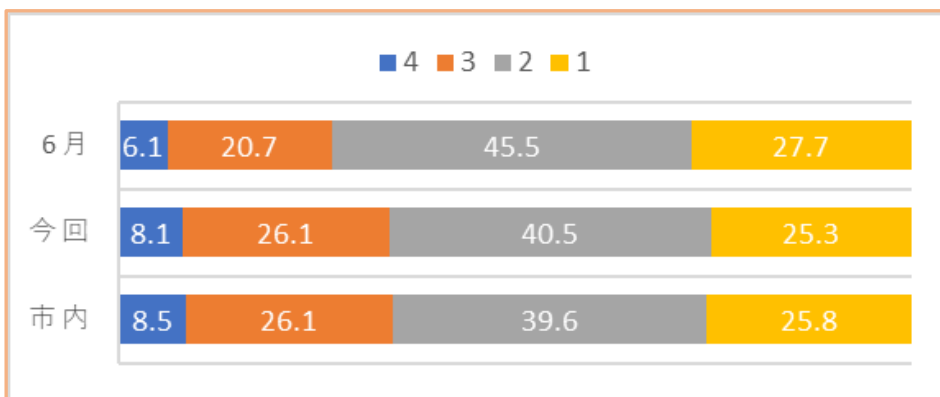
⑤学校は、個に応じた丁寧な学習指導を行っていますか。(学校独自)



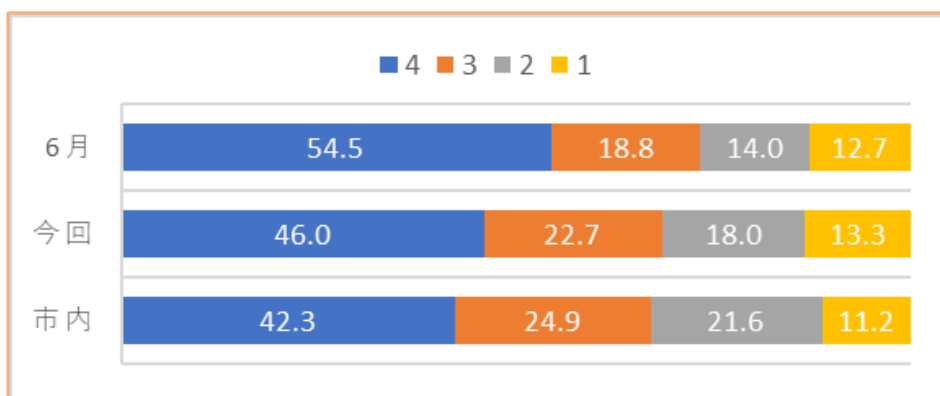
⑥お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。



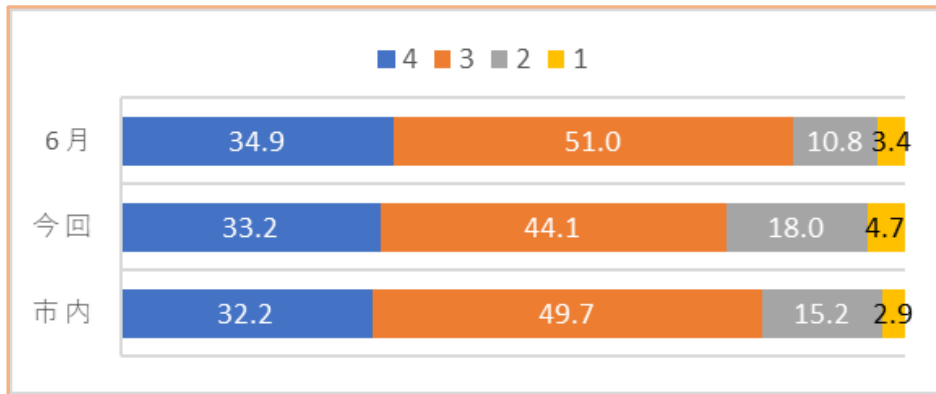
⑦お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。



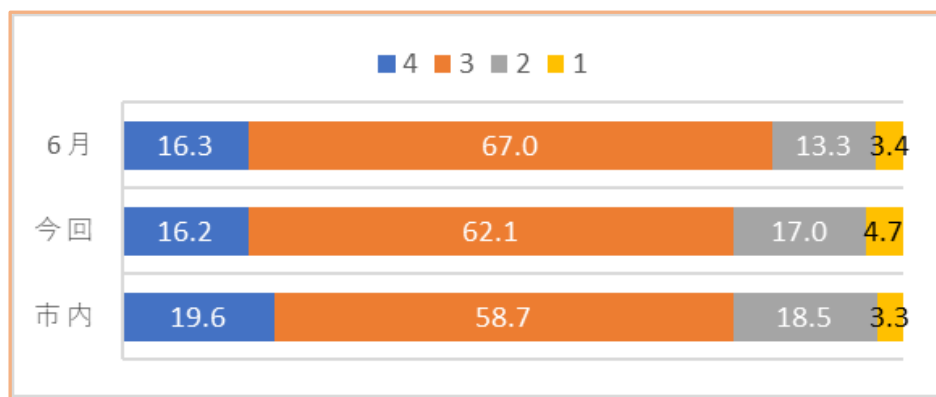
⑧お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。



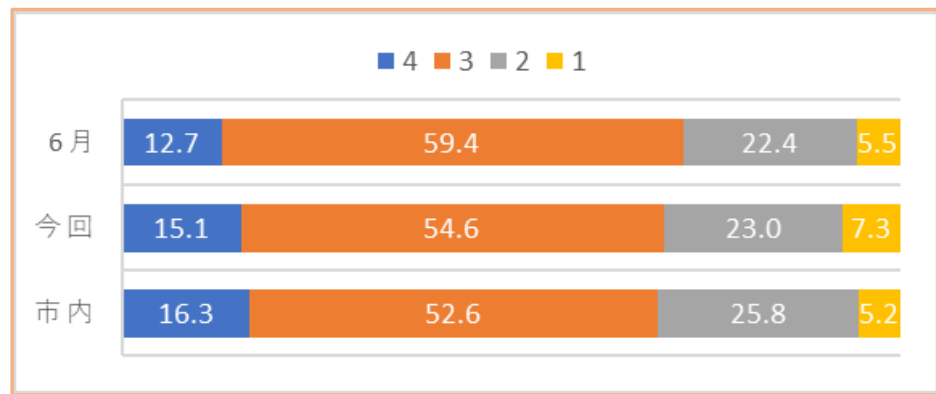
⑨お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。



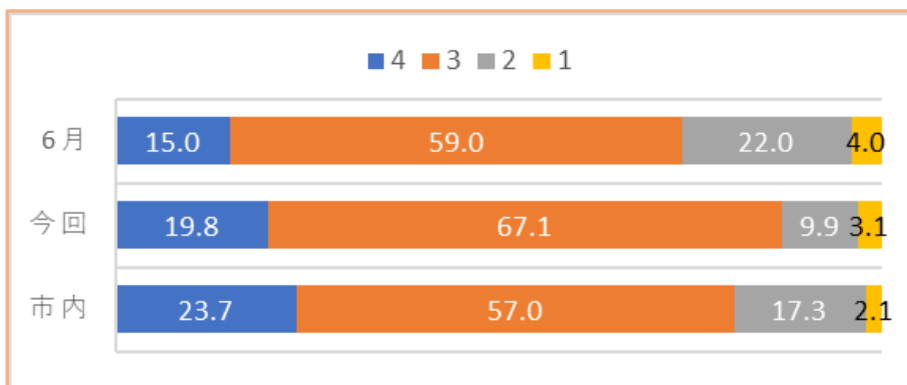
⑩学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか。



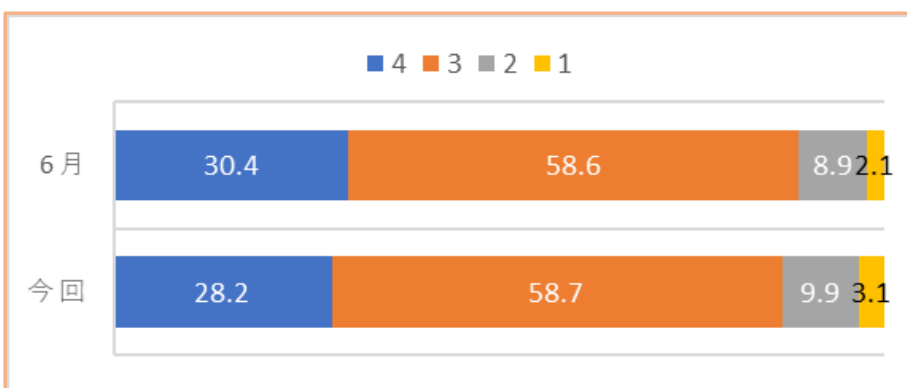
⑪学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。



⑫学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。

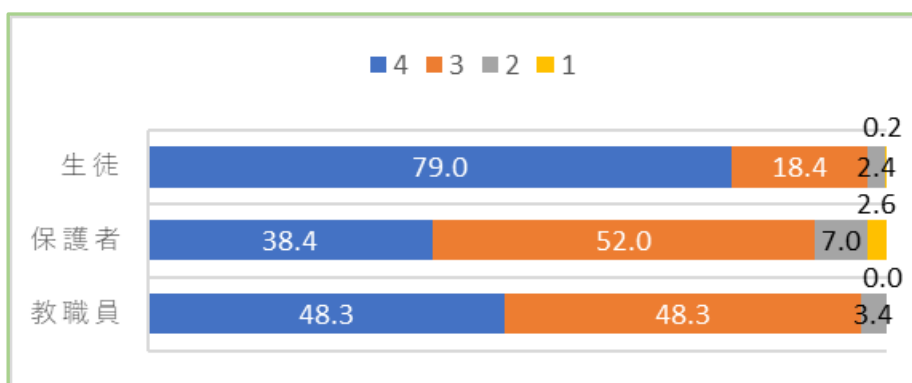


⑬学校は、便りやホームページ等で、学校の様子を十分に保護者に伝えている。(学校独自)

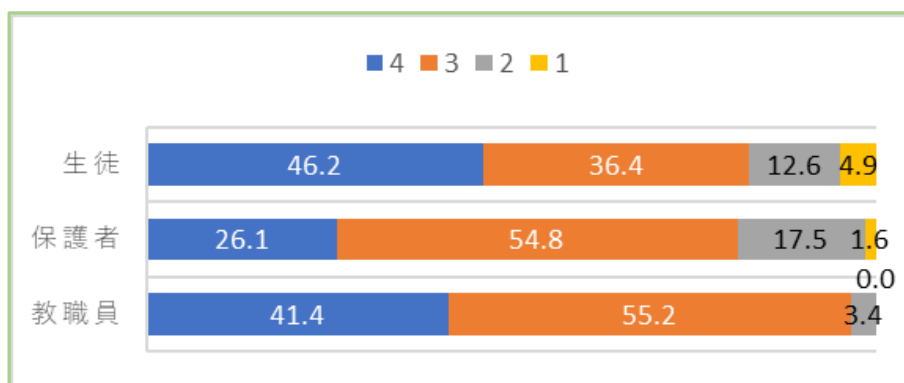


(3) 三者（生徒・保護者・教職員）比較

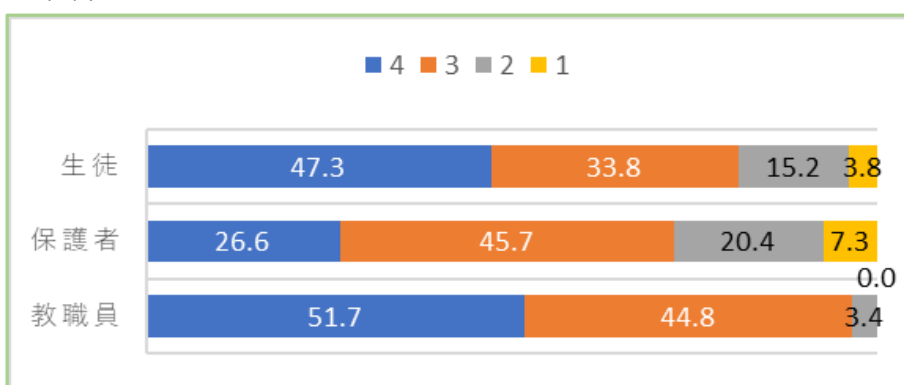
①「お互いの良さを認め合う」ような関係づくり



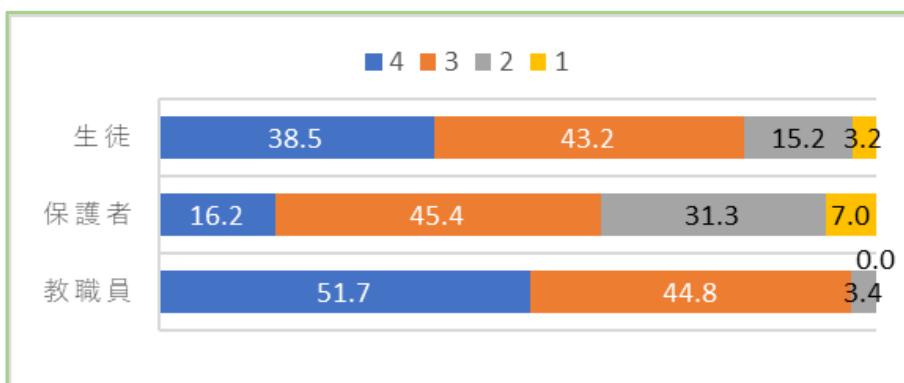
②自分の良さに気づく



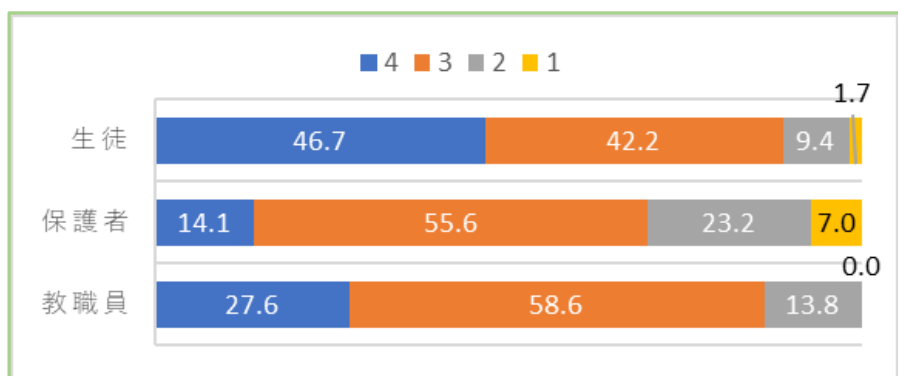
③目標を持って学習したり生活したりする



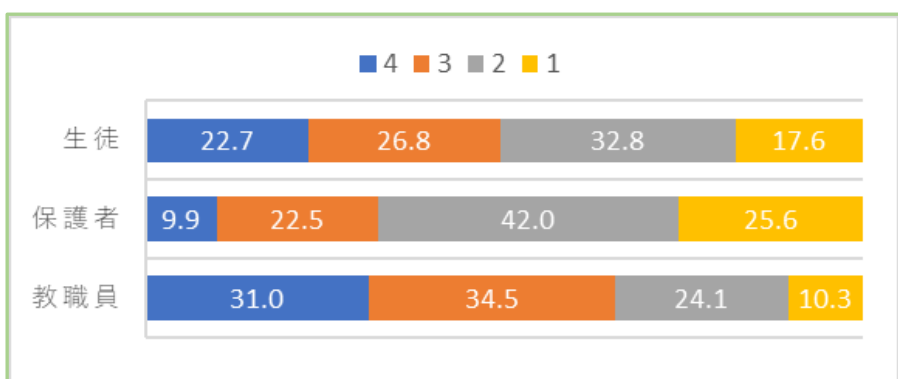
④色々なことに興味を持って学習に取り組む



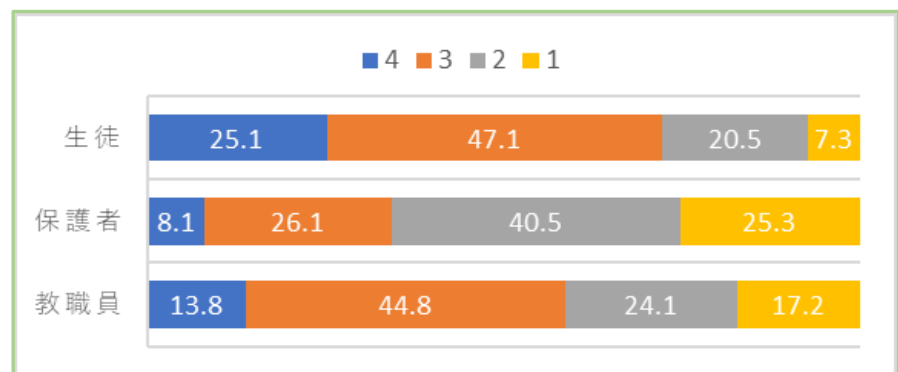
⑤個に応じた丁寧な学習指導



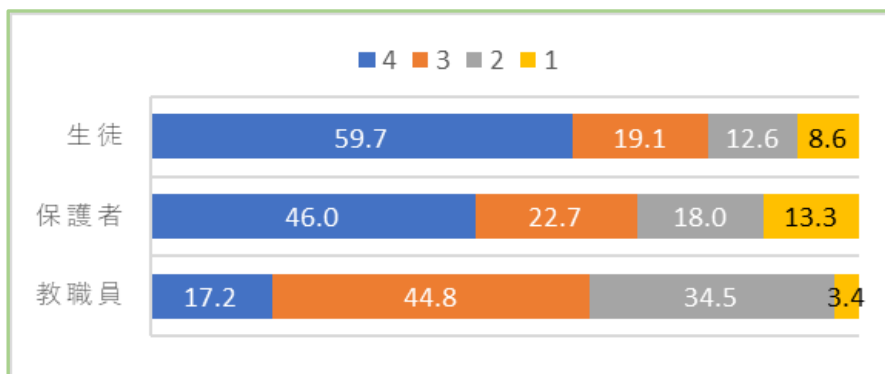
⑥読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をする



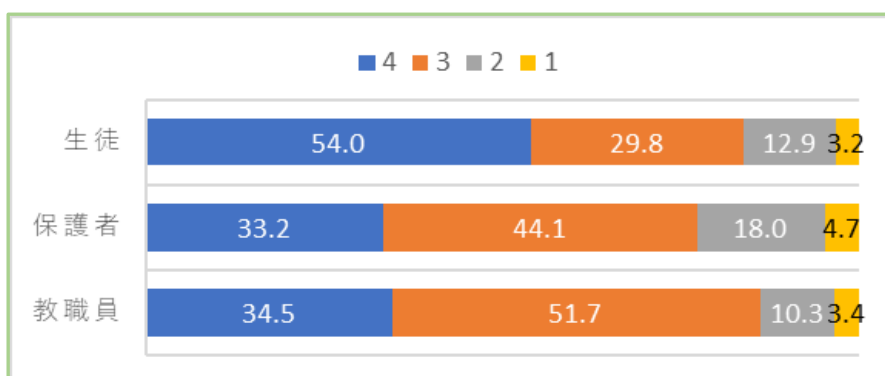
⑦毎日の学習でタブレットを活用



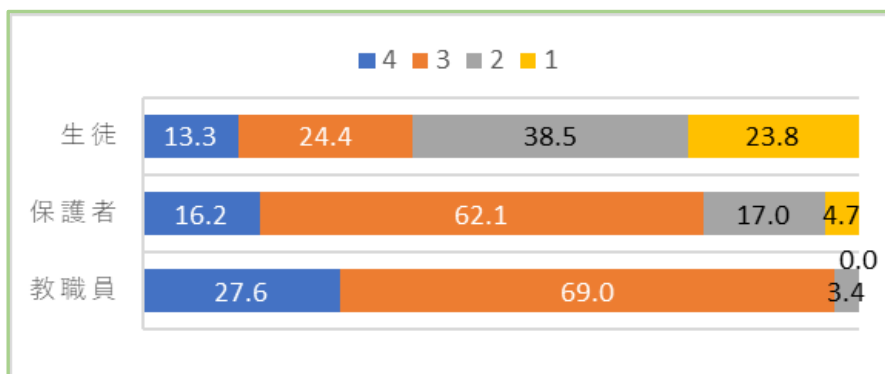
⑧運動やスポーツに親しむ



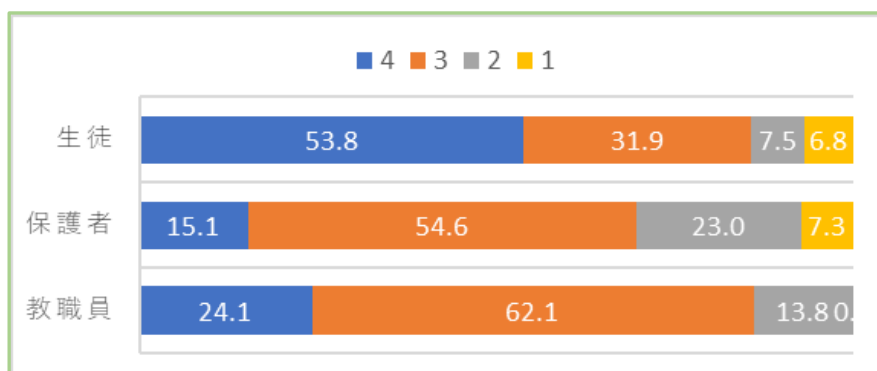
⑨望ましい食習慣



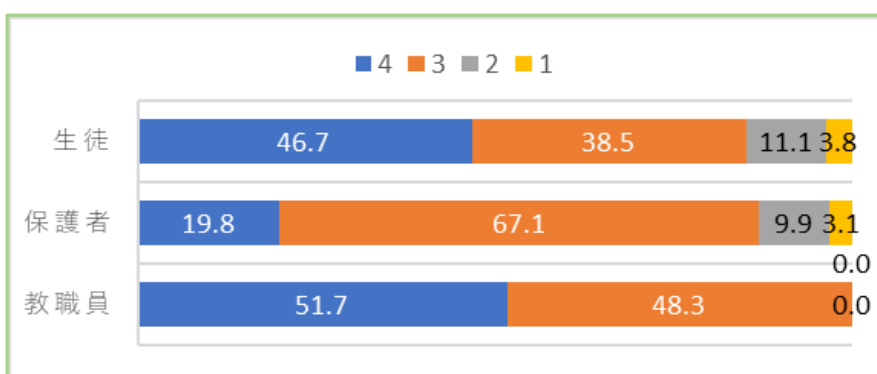
⑩学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる



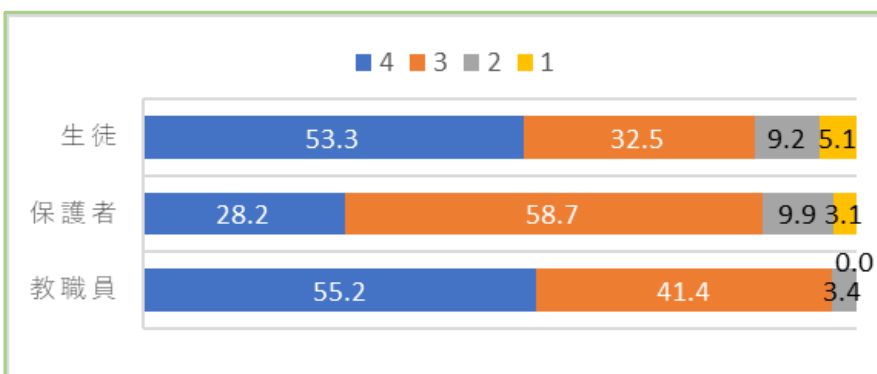
⑪一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制



⑫体験活動を取り入れている



⑬便りやホームページ等で、学校の様子を伝えている



2 分析

(1) 『学習』

生徒アンケートの④「調べたいことや分からないことを自分で調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいますか。」について肯定割合が6月より3.5ポイント減少しているが、市内生徒と比較すると4.6ポイント高く、本校生徒の学習意欲の高さがうかがえる。同様の内容の教職員アンケートにおいても、96.5%の肯定割合が結果としてでており、教職員の働きかけが効果として表れていると考えられる。また、生徒アンケート⑤の「学

校では、個に応じた丁寧な学習指導を受けていますか。」については、肯定割合が6月から1.3ポイント減少しているものの88.9%と極めて高い。同様の内容の教職員アンケートでも86.2%と高く、こちらも教職員の働きかけが効果として表れていると分析できる。一方で、アンケート⑥の「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。」については6月の肯定割合52%から2.5ポイント減少し49.5%であるが、市内全体よりも4.6ポイント高い。しかし、読書や図書資料活用についてはまだまだ改善の余地があるので、取組の工夫を検討していきたいと考える。アンケート⑦のタブレット使用の質問については、6月の肯定割合54%から72.2%と大きな増加がみられた。また、市内全体の57.2%よりも15ポイントも高い。教科特性や学習单元等にもよるところがあるが、教職員の肯定割合58.6%といった意識的な働きかけの影響が多分にあると考えられる。全体として特に生徒の肯定割合が高く、教職員の働きかけも効果的であると分析できる一方、少数であるが躓いている生徒やよりきめ細やかな対応が必要な生徒がいることも事実である。この結果に甘んじることなく、引き続き教材研究や誤答分析を通して、学習指導のスキル向上を図っていきたい。

(2)『指導』

アンケート⑩の学校の保護者、地域との協力については、肯定割合が教職員では96.6%、保護者では78.3%と高いのに対して、生徒は6月の38.8%、今回の37.7%と低めである。(市内全体では36.7%)これは生徒アンケートの「学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか」、保護者アンケートの「学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか」という文章に影響を受けていると考えられる。大人が『子どもを育てるといふ』単方向性に対して、子どもが『地域の方たちと共に学ぶ』という双方向性を考えると、生徒は肯定的に回答がしにくかったのではないかと考える。ただ子どもたちは地域の一員としての役割もあるので、地域の人材資源が豊富なこの八中学区で、ますます活躍の場を増やしていくようにしていきたい。一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制については、肯定割合が生徒85.7%、教職員86.2%と高い。また保護者も69.7%とやや下がるが決して低くはない。特に、生徒への質問「困ったことがあった時に相談できる先生がいますか。」に対しては、特にそう思うが6月の53.1%から今回は53.8%に上がり(市内全体は39.9%)、そう思うも6月の31.7%から今回は31.9%に上がり(市内全体は37.7%)、肯定割合は6月が84.8%、今回は0.9ポイント上昇し85.7%であり、生徒の教職員に対する信頼度の高さがうかがえる。一方で、否定的な回答をしている生徒がいることも見逃してはならず、学校として組織的な教育相談体制をより強固にしていく必要があると考える。体験活動に関するアンケートについては、教職員が肯定割合100%に対して、保護者86.9%、生徒85.2%である。さらに、特に思うとの生徒回答が46.7%と高く、市内全体の

35.8%よりも 10.9 ポイントも高い。日頃の授業もさることながら、職場体験活動や保育実習の実施等々の影響が考えられる。今後も生徒たちの実感を伴った体験活動を大切に、教育活動を重ねていきたい。

(3) 『生活』

アンケート①「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりについては、特にそう思うと回答した生徒が 79%と高く、肯定割合は 97.4%である。保護者も 90.4%、教職員も 96.6%と非常に高く、良好な人間関係が構築できていると考えられる。また②の自分の良さに気づくこと（学校独自項目）につきも、そういった働きかけをしていると肯定的に考える教職員が 96.6%に対して生徒 82.6%、保護者 80.9%といずれも高い。目標をもって学習したり、生活したりすることについては、生徒、保護者ともに市内全体とほぼ同じ程度の肯定割合であったが、三者比較を見ると教職員の肯定割合が 96.5%と高い反面生徒は 81.1%であるので、教職員の目標の持たせ方を今一度見直す必要があると考える。アンケート⑧の運動やスポーツに親しむことについての質問では、特にそう思う生徒が 59.7%、保護者も高く 46.0%、一方教職員は 17.2%。肯定割合では生徒が 78.8%、保護者が 68.7%、教職員が 62%であった。生徒の部活動等への加入状況や教職員の担当教科や担当部活の差が回答に影響したと考えられる。生徒全体という意味では正課体育のより一層の充実を目指し、生涯を通じて運動やスポーツに親しむ生徒の育成を目指していきたい。⑨の望ましい食習慣については、肯定割合が生徒も保護者も 6 月の時よりも下がり、生徒は市内全体の 82.3%よりも 83.8%と若干高い一方、保護者は市内全体の 81.9%よりも 77.3%と低い結果が出ている。本校は保健給食委員会の中で調査をしたことがらについて、委員の生徒が学校保健委員会に参加して学校医からアドバイスを受ける活動を行っている。こういった活動の周知方法を工夫し、生徒だけでなく保護者にも情報発信していくようにしていきたい。アンケート⑬の便りやホームページ等での情報発信については、肯定割合が生徒 85.8%、保護者 86.9%、教職員 96.6%といずれも高い。この結果に甘んじることなく、今後引き続き家庭や地域との連携を大切に、生徒たちの学校生活の充実を図っていきたい。

(4) 『自由記述について』

※分野が混在している回答については、主な内容で分類させていただきました。

①教科指導等に関すること

補助の先生等、学習の個別の支援。（1年保護者）

A:先生との関係が良い関係だとイベントを通じてよく思います。

B:一部教科の授業がわかりづらいと聞きます。そのような確認は学校側にて実施されるのでしょうか。（3年保護者）

A:担任の先生が、個々の状況を把握してくださり、きちんとした対応やフォローをしてくださる点。とてもありがたいです。

B:教科担任により、テスト前の授業にムラがある。

学校のプリントのコピーが薄くて問題、答案がよく見えない時がある。(1年保護者)

B:テストの平均点が低いことが気になる。生徒が理解せず学習を進めているのではないか。または、生徒が学ぶ意欲が低いのではないか。(1年保護者)

B:欠席した場合、「ノートやプリントを友達に見せてもらって写す」だけで授業内容を理解できるのか疑問です。例えばインフルエンザだったら最悪1週間分の授業が抜けるわけで、先生サイドから何かしらのフォローがないと、落ちこぼれてしまうのではと心配しています。さらに、「ノートを見せてと頼める友達がいらない、気が引ける」という生徒もいるのではないのでしょうか?病気のとき安心して欠席できる対応をお願いしたいです。

A:家庭科で保育体験の授業があり、一人っ子の息子にとって、とても良い経験になったようです。(3年保護者)

B:検討してほしい点

挙手したり発表したりのポイント制は無くすよう検討してほしい

挙手して発言できる子ばかりではないし発言出来なくても自分の考えを持っている子もいるし、それをポイント制としてポイント数を生徒たちに認識させるのはよくないと思う

出来ない子の劣等感を生むだけだと思います

先生は生徒全員に発言や発表の機会を与えるなどして、手を挙げられない性格の生徒が評価に影響しないように工夫するべきだと思います(2年保護者)

個別指導は難しいと思いますが、理解度でグループ分けする授業を数学などで行って頂けないでしょうか。(1年保護者)

習得状況によってグループ分けする授業があると素晴らしいと思います。(1年保護者)

勉強の補習をする時間を夏休みや冬休みに開催していただけますが、本人に促したところ、ただ自習するだけで不明点を教えてくれる訳では無いと否定的でした。残念です。(2年保護者)

学校より

アンケート結果からは個に応じた学習指導について高い結果が出ていましたが、自由記述の中では、より個に応じた学習指導を求める声が聞かれるので、学習形態だけでなく教材の工夫等を含めてきめ細やかな指導を目指してまいります。また、そのためにも生徒の実態や状況把握は必要であり、テスト等では採点をするだけでなく誤答分析等を通して実態の把握を行っていきたいと考えます。インフルエンザ等出席停止の際の学習保障については流行時期にあることを踏まえて喫緊の課題ととらえ、対応を検討してまいります。学習会の持ち方についても生徒の実態に合わせた方法や、『まなびくらぶ』の積極的な周知を図ってまいります。

②給食に関すること

B 長期休暇の前の給食の日数を伸ばして欲しい。今月、他の学校は19日までであるのに、こちらは17日で最後は早すぎる。(3年保護者)

B: 給食は学校生活の中で楽しみの時間になるよう、質や味付けを改善して欲しい。(1年保護者)

給食が美味しくないという話をよく聞きます。入学前からそう聞いていましたので、設備の問題もあるかも知れませんが、改善されることを願います。(2年保護者)

八中は他の市川市内中学校に比べて、お弁当の回数が多いと思います。同じ市内の公立中学校であれば、平等にしてもらいたいです。(2年保護者)

学校より

本校の給食は平田小学校の給食室で作ったものを運んでいただいております。昨年度は平田小学校が振替休日でお休みの日はすべてお弁当でしたが、今年度は交渉して振替休日のうち2日、給食を提供して下さるようにした次第です。次年度からはそういった学校間の不均衡を解消するために、年間の給食回数の基準が設定されましたので、ご家庭の負担をこれまでよりも軽減できるようになることと思います。また、給食の味付けですが、ご家庭での食事のようにある一定の嗜好に合わせるが難しく、小学生も含めていろいろ好みの児童生徒に対応できるように、素材の味を生かした薄めの味付けとなっております。よく噛むと素材本来の味をしっかりと味わうことができますので、そういった形で栄養計算が十分されている給食を味わってもらえればと思います。

③指導等に関すること

B: 先生の危機管理への意識に疑問を感じる時が複数あります。不審者を想定した訓練で先生がふざけたり、嵐のような天候の中で子供を帰す際、安全を促すよりも早く帰宅できる事を喜んだり聞き不安になりました。(3年保護者)

恐怖心を与えるような叱り方をしてる先生がいると時々話題になります。(1年保護者)

教員の対応が中学生からだからなのか、バラつきがあり、偏りを感じる。

若い先生に対して不安を感じないよう意識はしているが、やはり感じてしまうため、教員のなかでも管理職側は大変だと思うがケアをして欲しい。"(1年保護者)

先生の対応が、生徒によって態度や対応が全然違うと前から言っています。うちは嫌われていると感じている方で、子供は先生から嫌われていると感じている。

こちらが話すわけでもなく、他の複数の生徒や保護者もその現状を知っていたため、悲しく感じました。人間なので、好き嫌いがあるのは仕方がないが、表面には出さないで頂きたいと思いました。(3年保護者)

他の生徒が同じ事をしていても自分だけ先生から注意されるのがイヤだと何度か言っていました。それが続いたら学校に行きたくない。

そうなる困りますので改善していただきたいです。(1年保護者)

A のぞみ学級の先生方の指導が素晴らしいです！小学校5年生から不登校になり、家に引きこもり歩く力もなくなった子が、のぞみ学級に転入してから見違えるほどに成長しました。先生方のご指導の賜物です。本当に感謝してもしきれないほどの大偉業です。心より尊敬し、感謝申し上げます。(2年保護者)

学校より

職員の危機意識の低さは大きな事故にもつながりかねません。日頃から管理職より危機管理については注意喚起をしているところですが、引き続き指導をしていきたいと思います。また、本校は6月の学校だよりにおいて『八中 暴力・暴言ゼロ宣言』をしたところですが、また、教育委員会の職員を講師に招き、不適切な指導についての研修も12月22日に行ったところですので、もう一度それらを職員に確認するとともに、日々の活動の中で、健全な教育活動が行われるよう努めてまいります。今後『八中 暴力・暴言ゼロ宣言』に触れるような事例がございましたら、情報をお寄せいただけますと幸いです。

④進路に関すること

B 進路指導についてもっと子ども自身がわかりやすく指導して頂き、保護者にも分かりやすいよう伝達してほしい(3年保護者)

B: 3年生を受け持つ担任の先生には高校受験(私立/公立、一般/推薦共に)に関して生徒からの相談に乗り最低限のアドバイスができるよう一般的な情報は持っておいていただきたい。※以前面談時に「過去受験生を持ったことがないので仕組みがよく分からないんですよ」と堂々と話されていたことに不安を感じました。(2年保護者)

B 今年、近隣高校訪問が中止になってしまった。高校進学にあたり、体験や交流ができることは、志望校に行くのでなくても、とても貴重な経験だと思う。中止ではなく、延期で年度内に実施して欲しい。中止にするなら、その理由をきちんと書面で学年に配布いただきたい。(2年保護者)

学校より

進路情報については年々形態が変わる中、正しく把握し正しく情報伝達していかなければならないところです。若年層の職員には、経験の豊富な職員がサポートする体制をより強固にしております。また、今年度は3月末に校内で進路に関する職員研修を行い、卒業学年だけでなく学校全体で進路情報を共有することを計画しております。高校訪問は学校としましても進路選択において貴重な機会と考えているところです。一方で、受け入れをする高校側の都合もあり実施するにあたっては、時期や内容を吟味しなければならないのが現状で、今年は実現が叶わず申し訳ありませんでした。今後、3月に複数の高校の先生をお招きして、2学年対象に進路講演会を計画しております。

⑤生活に関すること

1年生から不登校が続き、現在、3年生になりました。このままですと、卒業まで不登校になります。学校からの対応は改善が見られません。(3年保護者)

4組の担任の先生が作成してくださってるプリントで、学校での様子を伝えて下さるので、ありがたいです。(1年保護者)

A:学年主任の先生とPTAとの交流会に参加しましたが、色々なお話が聞けてとても良かったです。

B:長期休暇前に教科書類を全て持ち帰り、明けに全て持っていっていますが、2・3日でそれを行うためリュックが重すぎます。先生方はその頃の子ども達のリュックを持ってみたことはありますか?すごい重さです。徐々に持ち帰るように子どもに言いましたが、もしかしたら使うかもしれないから、授業が終わるまで持ち帰れないとのことでした。2週間ぐらい前からこれはもう使わないから持ち帰り可と伝えるとか、全て持ち帰る必要なしとするとか、対策を考えていただきたいです。リュックの底が抜けそうです。(1年保護者)

学校の相談室をもっと気軽に利用できるような環境にしてほしいです。息抜きできる場所が必要な子供達のために。せめて予約が入ってない時間帯は解放するとか、相談室からの情報をもっと配信していくなど…是非検討していただきたい所です。(2年保護者)

先生方、いつもありがとうございます。委員会や班長、合唱祭の指揮、伴奏など2年連続同じ子たちがやっていたりするので他の子にもチャンスをお願いしたいと思います。(2年保護者)

学校より

不登校への対応については、担任だけでなく組織対応を原則としているところで、校内でも対応策を検討する部会を毎週開催しているところです。1年次から継続とのことでご家族の不安とご家庭の負担を考えると心が痛みます。卒業まで残り時間が少なくなっていくところですが、次につながるような形での卒業を目指して対応してまいります。また、荷物の持ち帰りに関しましては昨今の教材の量や教科書の紙質を考えると持ち帰る生徒の負担も軽視できないのが現状です。ついては、安全面を第一に考えた対策を検討してまいります。相談室につきましては、定期的に相談室だよりを発行しているところですが、さらなる情報発信を検討してまいりたいと思います。その他ご意見を参考に、対応してまいりたいと思います。

⑥部活動に関すること

A 昨今議論になっているが部活に熱心な先生方が多いこと。

B 教師から生徒へのハラスメント教育 (2年保護者)

A 部活動に熱心に取り組んで頂ける先生が多い印象 (2年保護者)

B 部活の指導の際に高圧的、感情的な言葉で指導する(女性の先生も)と言う旨を子どもか

ら聞くのですが、それは学校側が容認している指導なのでしょうか。中学生ともなると、優しい言葉だけでは話が伝わらないこともあるかと思いますが、高圧的な態度で生徒が何も意見できないような指導は指導と言えるのかな、と感じています。人権を尊重した指導をして頂くことを望んでいます。（2年保護者）

B:男子の入る運動部が少ない。文化系の部活が少ない。早急に改善の余地ありと思います。（1年保護者）

・八中の公立学校としての部活動に疑問を持っている。

部活動保護者会の説明とは違う活動をしていると思っている。

やるからには勝ちに行く！と言うのは理解していますが、夜部活をしていたり、合宿をしたりするのはどうかと思う。

正直、数が多いとは言えない部活動で保護者としても中学生位は部活動をして欲しい！と思っていますが、昨今の部活動は遠征も多く交通費の出費、マイユニやお揃いのジャージやウインブレの購入等…入学したら制服や体操服以外にも〇十万近くの出費。そこに合宿等保護者の経済的負担は増すばかり。夜部活動や合宿に参加しないならヤル気がないと思われ試合にも出れず…。

保護者としては、選択権はあると分かっている「自分の子だけ…」と思うと…。

私立ならわかりますが公立学校で…。

・家庭にスマホの使用方法のルールを決めて欲しいという割には学校部活動でのスマホルールはなっていない。

持ってきていい部活もあればダメな部活動があったり子供達にとっては不公平。

持ってきていい部活動の生徒はSNSにアップしている。

持ってきてはダメな部活動でも許可されている生徒以外が持参していても顧問は何も言わない。

真面目にルールを守っている生徒がバカをみる学校ですか？

そして、試合会場内で生徒とスマホで動画などを観ている先生…。

・「この試合に負けたら番手を下げる」「レギュラーチームからははずす」などいつも言われ子供達は結果ばかりを気にして楽しめなくなっている。

・思い出も勝ちも経験させて欲しいのですが…（2年保護者）

学校より

部活動につきましては、熱心な指導を評価してくださっている一方で、顧問の思いのみを優先した運営については、改善の必要があると考えます。各顧問には保護者との連携や運営についての了承等が十分であることを確認し、健全な運営を行っていくよう改めて指示をいたします。また、合わせて部活動におけるスマホ使用等についても必要性を今一度見直し、必要であるならば最低限の使用にとどめるよう、共通理解を図ってまいりたいと思います。またハラスメントに当たる行為につきましては、

『八中 暴力・暴言ゼロ戦宣言』に触れますので、具体的な情報をお寄せいただけますと幸いです。部活動の新設につきましては、ニーズがあることも理解しつつ、部活動の地域展開が進んでいるところですので兼ね合いを考えて検討してまいります。

⑦その他

昨年末のオープンスクールで行った学年運動会を毎年やってほしい。(2年保護者)

A 弁当持参のメンション、進路の細かい情報のお便り(3年保護者)

B 職場体験について。生徒によって体験場所や体験に行くメンバーにかなり不公平さを感じました。

ある人は仲良くしてる人同士で行ったが、ウチの息子は全く交流のない生徒と行くことになりました。

また、体験場所も近隣場所の人もいれば、ウチの息子は電車を乗り継いで行く場所でした。しかも、希望していない職種に行くという内容でした。

どうしてこんなに生徒によって不公平さが出たのでしょうか。

今後は生徒の希望にそった職種を選べたり、体験場所も近隣のみにするなど、対策をお願いします。(2年保護者)

B 学校生活と部活動以外の時間、体験も充実できるように、選択肢が増えると良いです。(1年保護者)

のぞみさんが作ったものを購入できる機会があり、、、、というような内容のお話をされている時に「のぞみさんだったか、ひとみさんだったか」のようにおっしゃっていて、のぞみ学級とひとみ学級のことをあまりご存知ないんだなと感じた。

普通級の先生方からしたら支援級は、そんなに軽い存在なんだなと感じて悲しくなった。(1年保護者)

息子本人でないと分からないことは、「どちらかと言うとそう思う」にしました。

A: 校長、教頭先生はとても気さくで、子ども達のことを一生懸命見ようとしてくれていると思いますし、担任の先生も優しく寄り添ってくださり、学年主任の先生も子どもや保護者のことを考えながら対応してくれ、顧問の先生も毎日時間をたくさん使って貢献してくださり、感謝しています。ありがとうございます。(1年保護者)

〇〇でのトラブルについて保護者の方から「教師から保護者に電話があり、学校で相談窓口を設けたので口コミでまわりの保護者に伝えて欲しい」と言われた、という話を聞きました。が子供に確認したところ子供たちには何も説明がなかった上にその後の発表会では「〇〇の件については何も言うな」と教師から言われたとのこと。保護者に向けてもその後正式に何も報告が無かったことにとっても失望しました。(3年保護者)

A: 鶴風祭

音楽（合唱・吹奏楽部）に特化したところ クラス合唱だけでなく全体合唱や学年合唱をいれ見応えのある良い行事だった（任命式は別で良い）是非恒例になってほしい

B:・教員の能力に差があるためクラスによって同一教科の授業の理解度に差が出ている 定期試験の結果や成績、内申点に差が生じる点に疑問を持つ

- ・定期テストにおいて時事問題の出題は必要と考えるが出題基準がズレていると感じる
 - ・いまだ子どもたちを牛耳りたい教員が多いように感じる 自意識過剰で保護者においても子どもたちにおいても上から目線の教員がいる
 - ・子どもたちに主体的と言いながら教員達の生徒を信じる力が足りない
 - ・行事において3年生に華を持たせようとする教員がいて子どもたちからのアイデアややる気を生かすことができなかつたのは残念に思い指導や対応に疑問を感じる
 - ・アンケートを記述するが反映されているかも効果もあまり感じられない 学校だよりで都合の良いところの一部抜粋や件数だけでは伝わってこないところも多い
- 一問一答のように公開している丁寧な学校もある 学校運営の向上を真剣に考えているのであれば意見要望の内容と学校側からの解答の公開を保護者にも教員にも共有の観点から取り入れるべきだと思う
- ・配布物が前年度の内容をそのまま使用していると思われるものがあり内容をよく確認せず配布しているように感じる
 - ・教員同士の連携が取れていない
 - ・学校行事等の段取りが悪い
 - ・教育や子どもたちへの熱意が感じられない
 - ・教員たちの向上心がない
 - ・気配り・目配りの出来ない教員が多い
 - ・教員の質が悪い

笑心翔新 可能性が無限大な子どもたちの居心地の良い学校作りをよろしく願います
(2年保護者)

学校より

学年運動会の参観につきましては、参観の皆様が安全な参観場所の確保が難しいとのことで今年は通常授業の参観にさせていただきました。また、職場体験の割り振りについては十分に考えた上での振り分けであったと思いますが、ご意見にあったような事実があったことは真摯に受け止めたいと思います。コロナ禍で中断していた職場体験の久々の再開でしたので、今後は生徒たちのニーズによりこたえられるよう、体験先の開拓に努めていきたいと思ひます。また、可能な範囲で体験先のご紹介をいただけますと幸いです。

学校の取り組みについて評価いただいている点多々ありますが、一方で学校からの連絡不足や情報発信不足により、保護者の皆様に対して一部不安を抱かせるようなことがあったことを真摯に受け止め、今後改善に努めてまいりたいと思ひます。また、我々の対応の不備についてより具体的な情報を

お寄せいただけますと改善点が明確になりますので、伝え難いと存じますが、お声をお寄せいただけますと幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

3 学校運営委員のご意見

○今年度は学校に来る機会が多かったが、自由記述にあるようなネガティブなことは、そんなに感じられませんでした。

教職員の皆様には、引き続き自信をもって学校運営に臨んでいただきたいと思います。

○アンケート結果は良い結果で、八中の指導等のたまものだと思います。

○先生方には自信をもって頑張ってもらいたいです。

○自由記述を求めたのであれば、学校もそれなりの答えを示す必要があると思います。ただ、来年度のアンケートは全員記名式にするとよいのではないのでしょうか。回答する側も発言に責任を持ち、学校も答えやすい。先生方、とても頑張っている。そして生徒も。

○個別指導については、『まなびくらぶ』を活用するとよいのではないのでしょうか？地域も協力したいと思います。

○出席停止期間の学習保障については、先生方の負担にならない良い方法を考える必要があると思いました。

○文化系の部活動等については、地域人材をぜひ活用してください。

○「試合に負けたら番手を下げる」という声掛けは、子どもたちにとってプレッシャーかもしれないが、逆に考えると「試合に勝てば番手が上がる」と解釈もできる。人は自分にどうしても甘くなってしまうので、生徒たちには試練を乗り越えてたくましく育ってほしいと思います。